

## ■受診の際に必要なもの

- 核酸抽出検査を行うための手術・生検時の病理検体が必要となりますので、ご準備の上、予約日7日前までに当院へ送付もしくは持参ください。
- 外来受診の際、現在までのがん診療に関する「診療情報提供書」「病理診断書の最終報告書コピー（手術材料の場合、該当するブロックが記載されている切り出し図コピー）」が必須となりますので、ご準備願います。

### ご提供いただく 診療情報

Medical information

#### ● 臨床経過

がん診療に関する臨床経過をできる限り詳細に記載ください。

手術、化学療法（レジメン）、放射線治療の施行日、及び期間

- 疾患名（Stage）、原発巣、病理診断名、現病変、検体採取部位、検体の種類
- 家族歴の有無、有の場合はがんの種類（記載例 父 胃がん 70歳代）
- 未施行の保険承認内治療
- 病理診断書の最終報告書（コピー）

### ご提供いただく 病理検体

Pathology specimens

#### 病理組織標本のブロック※をお貸しください。

当院で薄切を行い、検査終了後に返却させていただきます。

※複数のブロックがある場合は、腫瘍量の最も多いブロックでお願いします。

ブロックをお貸しいただけない場合は、お手数ですが下記のような検体をご準備願います。

#### 【生検組織の場合】

- ① HE標本1枚、未染色標本4枚（厚さ5 $\mu$ m：病理組織像の確認に使用）

※免疫染色用コートガラスを使用してください。

- ② パラフィンロール（DNA抽出用）

※パラフィンロールは、厚さ10 $\mu$ mで5～6枚、まとめてチューブに入れてください。

#### 【手術材料の場合】 ※手術材料とは、5×5mm以上の大きさの検体を指します。

- ① HE標本1枚、未染色標本4枚（厚さ5 $\mu$ m：病理組織像の確認に使用）

※免疫染色用コートガラスを使用してください。

- ② 未染色標本5枚（厚さ10 $\mu$ m：DNA抽出に使用）

※ノンコートガラスを使用してください。

※提供に当たって必要な消耗品・送付費用につきましては、患者さんもしくは紹介元医療機関にてご負担ください。

※病理検体が無い場合につきましては、当院の医師と検体採取等、別途受診の上ご相談ください。

※その他、病理検体の選定や送付に際しまして何かご不明な点がございましたら、担当までご連絡ください。